

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	広島トヨタ自動車株式会社
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>情報通信業界には大企業もあれば中小企業もある。これらが相互連携してこそ地場産業が活性化すると思う。「光の道」の推進に当たっては、地場産業の担い手である中小企業も市場に参画できるようにしていただきたい。</p> <p>地場産業の活性化を図る事が地域主権の実現にもつながるのではないかと思います。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>インフラ整備率が90%も進んでいるのにも拘らず、サービス利用率が30%と言うのは、生活に直結した使いやすいサービスが無いからだと考える。地方経済が活性化されるような利活用促進策を検討し実施して欲しい。政策実現により、光ブロードバンドサービスを利用するメリットを実感させて欲しい。生活感覚に変化が起こるとか利便性の向上とかが著しく感じられる事が大切である。</p> <p>インフラ整備を国が株主であるNTTのみに限定するのではなく、各種関係企業が参画できるようにすべきであり、その事が景気回復策にもつながる。</p> <p>サービスの充実とか新サービスの開発等は、あくまでユーザーの意向が主体であり、国民目線にあった、国民が望み納得のあるものにすべきである。</p> <p>NTTの組織形態の在り方、アクセス網の在り方、などは有識者による検討会議などを立ち上げ検討しては如何でしょうか？光ブロードバンドそのものを理解している国民はまだまだ少数でもっと分かりやすい広報活動が必要と思います。</p>